

令和 8 年 9 月定例会

(2 0 2 6 年)

市議会議案参考資料

(予算常任委員会 建設環境分科会提出分)

吹 田 市

議案番号	部 名	ペ ー ジ 番 号	資 料 名	要求委員名		
議案第97号	土 木	5	自動運転EVバス社会実装事業の取組状況（近隣他市）	益 田		
議案第97号	土 木	6	自動運転EVバス社会実装事業の自動運転実施までの計画	益 田		
議案第98号	水 道	7	井戸用地取得に係る当初予算と補正予算の内訳	益 田		

自動運転 EV バス社会実装事業の取組状況（近隣他市）

1 豊中市（出典：豊中市、阪急阪神ホールディングス各 Web サイト）

自動運転レベル	レベル 2 ※	
運行区間	豊中市新千里東町	千里ニュータウン地区（千里阪急ホテルを起点とする約 3 km 周回ルート）
運行日	令和 7 年（2025 年）3 月 26 日～3 月 28 日	3 日間実施
推進体制	豊中市、関西電力、損害保険ジャパン、阪急電鉄	市が実証フィールド提供・関係調整、民間事業者が企画総括、リスク評価、保険、公共交通面の助言等を担う。
車両	株式会社ティアフォー：Minibus	自動運転時乗車定員 15 名、自動運転時最高速度 35km/h。

2 西宮市（出典：西宮市、阪神電気鉄道各 Web サイト）

自動運転レベル	レベル 2 ※	令和 9 年度（2027 年度）中のレベル 4 認可取得を目指す。
運行区間	甲子園エリア	阪神甲子園駅を起終点に、西ルート・東ルートを運行。
運行日	令和 8 年（2026 年）8 月 31 日～令和 9 年（2027 年）1 月 30 日	期間中約 100 日間。 一般乗車は令和 8 年（2026 年）11 月中旬以降を予定。
推進体制	西宮市、阪神電気鉄道	運行主体は阪神電気鉄道・阪神バス。 NTT 西日本、ティアフォー等が協力。
車両	株式会社ティアフォー：Minibus 2.0	最高走行速度約 40km/h、定員 15 人。 AI 技術を認知・判断機能に活用。

3 大阪市（出典：大阪市、Osaka Metro 各 Web サイト）

自動運転レベル	未公表	市内路線バスで自動運転システム検証・開発を実施予定。
運行区間	大阪シティバス 25 号系統	地下鉄住之江公園－住吉車庫（距離未公表）
運行日	未公表	実施時期等は改めて公表予定。
推進体制	Osaka Metro、大阪市	大阪市の支援のもと、Osaka Metro が社会実装に向けた実証に取り組む。
車両	未公表	信号協調等のインフラ設備を活用した検証を順次実施予定。

※自動運転レベル 2：自動運転バスの操作を習得した運転士が乗務し、常時ハンドル・ブレーキ操作可能な態勢を取り、状況に応じて手動運転に切り替えて走行します。

自動運転 EV バス社会実装事業の自動運転実施までの計画

令和 8 年度（2026 年度）の実証運行を起点に、レベル 4 自動運行の認可取得を最終到達点として、最短で令和 11 年度（2029 年度）の社会実装を目指します。計画は以下のとおりです。

年度	実施内容	
令和 8 年度 (2026 年度)	実証運行スタート 自動運転レベル 2	2 月頃に実証運行（3 日間） ただし、準備走行を含め約 1 か月間の走行予定
令和 9 年度 (2027 年度)	実証運行の本格化 自動運転レベル 2	運行日数を拡大し、走行データの蓄積 アプリによる予約システムの導入等を検討
令和 10 年度 (2028 年度)	レベル 4 認可へ 自動運転レベル 2	自動運転車両の購入、レベル 4 認可申請
（最短） 令和 11 年度 (2029 年度)	社会実装 自動運転レベル 4	レベル 4 自動運行の認可を取得し、本格運行を開始

井戸用地取得に係る当初予算と補正予算の内訳

1 当初予算額 140,000,000 円

項目		金額	算出根拠
内 訳	土地のみの価格 (A)	178,467,450 円	令和 7 年（2025 年）近隣地価公示価格×面積 203,000 円×879.15 m ²
	建物等撤去費用 (B)	45,000,000 円	概算設計金額×想定落札率 50,000,000 円×0.9
	当初予算額	140,000,000 円	(A)－(B)＝133,467,450 円 一千万円未満切上げ

2 補正予算額 14,000,000 円

項目		金額	算出根拠
内 訳	相手方の提示額 (C)	154,000,000 円	鑑定価額に基づく
	当初予算額 (D)	140,000,000 円	上記 1 のとおり
	補正予算額	14,000,000 円	(C)－(D)

